



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.5.21 No. 4399

# ストライキ体制を! 全力で! 6・5 千葉総決起集会へ!

## 瀬戸際の危機に たつ「JR体制」

国鉄闘争が正念場を迎えている。十年が巡って、再び闘いのときがきた。この十年間の積みもり積もった怒り、いく度となく歯きりしたくやしき、何の道理もなく不当解雇され、差別され、卑劣な攻撃を受けながら団結を守り通した誇り、すべての想いをこの正念場の闘いに注ぎ込んで全力で起ちあがろう。

動労千葉と清算事業団一〇四七名が、十年間頑張りぬいたことが、JR体制を瀬戸際まで追いつめている。二八兆円問題が政府やJRやJR総連の土台を激しく揺るがし、革マルと結託した異様な労務政策の矛盾が一斉に膿を噴きだしている。

文字どおり、国家をあげ、企業をあげて、革マルの手まで使って、違法の限りを尽くして国鉄労働運動を解体しようとしたのに結局失敗。「そんなはずではなかった」——むしろ、自らの足元が崩れゆく事態のなかで、彼らは、今一度、動労千葉や国労に対する攻撃に最後の生き残りの道を求めている。

## 新たな闘いへ! スト体制を確立

動労千葉は、十年間の闘い決着を求めて、この攻撃と全力で闘いぬく方針を決定し、五月十五日、不当労働行為の根絶と、労働安全の確立を求めて、労働省にストライキの事前通知を行なった。

われわれは、①木更津支区長によるあからさまな組合脱退工作をめぐる交渉で当局がひらき直るような対応を行なった場合(団交は二四日予定)、②新たな不当労働行為が発覚した場合③そして、組合との合意ぬきに有機溶剤作業を再開しようとした場合(団交は二三日予定)、直ちにストライキに突入する。

われわれは、革マルと手を結び、労働者の切実な要求を逆手にとって人の心を引き裂くような、卑劣な組織破壊は絶対に許さない! 生命にかかわるような危険作業を強制し、それをひらき直るようなやり方は絶対に許さない! 全力で、六月五日、「正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をめざす、動労千葉総決起集会」へ!

## 六・五 動労千葉総決起集会

日時 九六年 六月 五日 (水) 一八時から

場所 千葉市民会館小ホール

動員 各支部とも最大限

# 発生する列車妨害 何があったらすぐ報告を!

この四月、防護無線が盗難されて以降、様々な手段を用いた列車妨害事件が多発している。その件数は、一カ月で一五〇件にのぼる。なかには、重さ二百キロのコンクリートブロックが置かれるなど、多数の生命を奪いかねない、極めて悪質なものもある。本部は、この事態を重視し、五月一日、千葉支社に申し入れを行なった。

## 国労の黒い影?

一方、JR東労組は、「組織部報No.一九」で、何と、「背後に国労の黒い影が見える」と主張している。国労が背後で列車妨害をやらせているというのだ。言っていることは完全に支離滅裂だ。こんなデマは断じて許せない! しかし、ひとつだけ明らかなのは、彼らは、誰ひとり信じないデマ・ウソを並べ立ててまで、動労千葉や国労破壊を狙っているということだ。そして、当局は、このような輩と癒着し、一体化して地獄の底までつき合おうというのだ。

われわれは、こうした事態を見たとき、何者かの手によるこの間の列車妨害事件の矛先は、動労千葉や国労に向けられていると判断せざるを得ない。

警戒心を高め、列車妨害等、不審な事態があった場合、直ちに本部まで連絡してください。

